

《キーワード》 顎口腔機能、咬合・咀嚼、ブリッジ、検査、治療計画

《担当者名》 越智 守生

【概要】

本コースの目標は、橋義歯補綴治療の実践に必要な知識と手技を講義と実習で身につけること、及び指導医の下で臨床経験を積み、治療計画の立案からメンテナンスまでに必要な知識と技術を習得することである。

【学修目標】

1. 各種咬合器の使用方法が説明できる。
2. フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明できる。
3. 暫間修復物（テンポラリークラウンブリッジ）を製作できる。
4. ブリッジの口腔内試適と装着ができる。
5. 1歯欠損の固定性ブリッジ（3ユニットブリッジ）が製作できる。
6. クラウンブリッジの失敗（脱落・破折）の原因を説明できる。
7. 包括的な固定性補綴治療を症例に応じて実践できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	フェイスボウトランスファー、チェックバイト法のシミュレーションと実践		越智 守生
2	ブリッジの支台歯形成のシミュレーションと実践		越智 守生
3	印象採得、咬合採得の実践		越智 守生
4	暫間修復物の製作と装着の実践		越智 守生
5	クラウンブリッジの口腔内試適と装着の実践		越智 守生
6	学会発表及び論文作成についての講義		越智 守生
7	症例検討会		越智 守生
8	基礎・臨床研究論文抄読会		越智 守生

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、レポート、症例発表、技工ケース

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【学修の準備】

学生はコースの目的を理解して、しっかりと講義などの準備をすること。